

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 美和台教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	・児童の人数に応じて職員配置できている。 ・運転できる職員が少ない場合、異なる小学校で職員を降ろすに対応している	人員配置基準は満たしています。 職員の運転研修や運転スキルを高めていけるようにしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・必要に応じて踏み台などを設置することで対策している。	適宜必要な場所等があれば改善していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	83%	17%	・毎月事業所内の会議を実施することで今月何をしていくのかであったり、担当業務を振り分けることで各自の目標を設定し、翌月どうだったかを振り返っている。必要な業務については都度職員間で改善に努めている。 ・プランが明確になっていないものもありてよく出来ていないと思う	定期的な会議の継続、会議の質を高めていきます。また、随時職員面談を通して職員に確認しながら業務改善を進めていけるように努めて行きます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・児童や保護者の満足度を意識して、新しい取り組み等を取り入れた。 ・保護者様の意見を共有している	自己評価アンケートや定期的な面談等を通じて意向の把握に努め改善させていただいております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにて公開し、情報発信している。	ホームページ等を通じて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	17%	83%	・わからない	現在、第三者による評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	33%	・事業所内の勉強会や外部の研修会に参加することで研修の機会を確保している。 ・定期的ではないと思う	定期的に事業所内の研修機会を確保できるように努めていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・担当職員、児発管を中心に児童の課題や保護者が求めていることを整理して個別支援計画書を作成することができている。 ・聞き取りはしっかりとしている	職員間で課題を整理し、保護者様との面談を通じて計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%	・よくわからない。 ・わからない	全事業所で統一したアセスメントを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	・企画会議はあるが、立案かどうかはわからない	担当職員を中心に立案しており、職員間で統一できるようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・毎回ではないが新しい活動を取り入れたりすることはできている。 ・参加率が高いものや、リクエスト活動を積極的に取り入れている	継続して児童や保護者様にも活動プログラムの希望等の聞き取りを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	・平日すること、休日にはできないことなどを整理し、児童の課題を設定している。 ・平日は細かく出来ている。	休日等も事前にしっかり課題等を検討しながら進めていけるように努めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・児童の特性に合わせて個別でしかできないことや集団活動の目標、ねらいをきめて個別支援計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・平日であれば、昼礼の時間を確保し職員の役割を決めることができている。休日は事前に活動計画書を作成し、チャット内での共有をしている。 ・土日は難しい	事前に職員の動きや配置を提示し、休日にも各職員の役割、支援内容をより明確にできるように努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・毎回終礼の時間を確保することで職員間で共有できている。終礼参加できていない職員も必要なことはチャットで共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	・記録は継続して残している。次回の利用時に必要に応じての改善策を話し合っている。	適宜必要な記録を取り、支援の改善に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・3ヶ月ごとに会議、報告書を作成することで支援の達成度、見直しをすることができている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	33%	・あまり勉強できてない ・わからない	研修会を計画立て、職員に見える形で掲示していきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児発管の参加が主ではあるが時間や配置に余裕がある場合は担当職員も参加をしている。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	83%	17%	・時間割や年間計画は保護者を通じて共有してもらっているが、送迎時の引き渡し等で児童の様子等や必要なことは先生と共有している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	83%	・医療ケアを必要としている児童を受け入れていない。	医療的ケアが必要なお子さまの受け入れは行っていないため、必要に応じて体制を整えていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%	・事業所間は文書や電話等を通じて共有できている。保育園等には現時点での共有はできておらず保護者から聞き取る形になっている。 ・わからない	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%	・相談員さん等に情報を教えてもらいながら定期的な面談の中で保護者へ共有している。 ・ご希望があればしている ・わからない	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17%	83%	・連携はない	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%	・近くの公園等に行った際に、一緒に体を動かしたりすることは時折あった。	
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	17%	83%	・参加できていなかったため、今後参加していきたいと思う。 ・参加したいと考えている	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時や定期的な面談を通じて保護者への聞き取りをする中で、共通理解は持っている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	・保護者の関わり方や声掛けの仕方、環境設定など助言している。 ・とても大事だと思うが、機会がないと感じている	職員各自がペアレントトレーニング等ができるようになるため、教育の機会等を作って行きます。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に時間を取り、説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・現在、保護者会等は企画できていないため、求めている声や機会があれば実施していきたい。 ・開催したいと強く思っている	現在、父母の会や保護者会の開催は行っていません。今後お声が多く聞かれた場合は検討していきます
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%		行事予定は毎月発信しています、会報の作成も担当を決め作成し保護者様に配布しています。
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・簡潔に伝えている	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・必要に応じて企画をしていく必要がある。	保護者様や地域住民の方のご希望等があれば実施を検討していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	67%	33%	・わからない	マニュアル等は随時作成しております、職員や保護者様へ広く周知できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%	・活動の中で実際に防災センターなどを企画して体験してもらうことも取り入れている。 ・定期ではない	年2回の避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%		適宜、研修会の機会を確保し適切な対応を職員ができるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	33%	・契約書に記載している ・わからない	現時点で必要としている場合はないですが、に身体拘束を実施するのかを説明し、同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	・保護者から情報もらっている。医師の指示書はもらえていない。 ・解らない	保護者様に食物アレルギーの有無を確認しています。現時点でアレルギーのある児童はいない為、アレルギーのある児童がいた際に適宜対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		